

# ALT



こんにちは  
**クリストファー・カリーク**  
外国語指導助手 (ALT)  
です

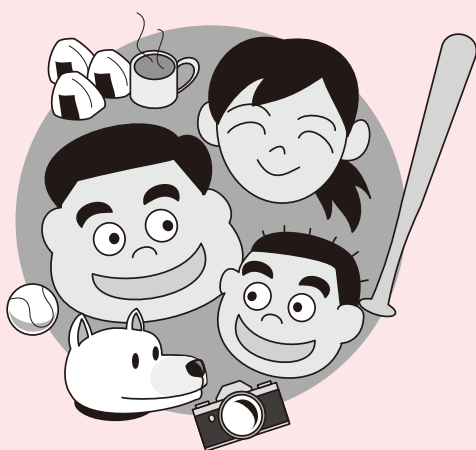
## お久しぶりです

五條に来てからもう五か月になり、お話ししたいこともたくさんできました。私はすっかりこちらの生活に慣れ、時間が飛ぶように過ぎて行くのに驚いています。生活の大部分を市内4つの中学校訪問に費やしています。そして教室の内外での様々な経験を楽しんでいます。周りのすべての人たちは大変優しく親切にしてくれます。特に私が日本語を勉強するときなんか、とても親切に手伝ってくれます。新しい単語を覚えようとするとき、そして日本語に関するいろいろな質問をするとき、だれ一人として忙しいからと嫌な顔をしたりせず、ていねいに教えてくれます。そのことがとても有り難いです。

文化の面から言いますと日本とカナダの様々な文化の違いにも慣れてきました。お辞儀をごく自動的にできるようになりました。とくにハイ・ファイブ（日本の中学生がよくする高いところで手のひらをあわせ合うあいさつ）が、握手に取って代わっています。おはしで食べるなんてもう当たり前のことです。でもセントラルヒーティングがなくて、家の中でも部屋を一步出ると外と同じ寒さという日本の住宅には慣れそうにありません。それに片方のチームが9人というバレーボールは、日本を離れたら二度とやることはないでしょう。

こちらに来てからたくさんの場所を訪れました。でもまだまだ多くの場所に行き、多くの文化を体験し、多くの言葉を学びたいです。五條での新しい生活にはうまくとけ込みつつありますので、今後はさらに一歩進んで他の日本を体験するのが楽しみです。そしてそこでも五條で会った人々と同じような人々と出会うことができるならば、きっと楽しくやっていけることだろうと思います。

\*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。  
英語版は中央公民館にあります。



## すこやか 子育て

**子どもたちの一番の願いはなんだと思いますか。  
それは『家族のみんなが楽しく過ごす』ことです。**

いつもほほえみのある家庭をつくりましょう。  
家族での会話を増やしていくことが、家庭づくりの基礎になります。不安やとまどいがないか、話さなければわかりません。  
年の初めの良い機会です。できるだけ一緒に食事をしたり、スポーツをしたり、また行事等に参加したりしましょう。  
子どもにとって心安らぐ居場所になっているかどうか、家庭を見つめ直してみましょう。

■問合先 青少年センター ☎24・3004